



# Diversity

文部科学省科学技術人材育成費補助事業  
ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特色型)

## 活動報告書

平成27年度ー令和2年度

---

国立大学法人 岡山大学  
ダイバーシティ推進本部



# CONTENTS

## - 目次 -

- P.001 ダイバーシティ推進本部長 挨拶
- P.002 ダイバーシティ推進
- 取組概要
  - 実施体制
- P.008 事業目標・行動計画
- 事業目標
  - 組織としての目標
  - 行動計画・取組内容
  - 選定時コメント
- P.016 実施報告
- Upgrade :女性研究者の上位職への積極登用に向けた取組
  - Empowerment :女性研究者の研究力向上のための取組
  - Support :ダイバーシティ研究環境整備のための取組
  - その他の取組
  - 活動一覧(平成27年度～令和2年度)
- P.172 事業成果
- 組織としての目標と達成度
  - 事業目標と達成度
  - 波及効果
  - 選定時コメントに対する対応
- P.180 事業終了後の取組の継続性・発展性

## GREETINGS

## ダイバーシティ推進本部長 挨拶

岡山大学では、平成27年度に「文部科学省科学技術人材育成費補助事業ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（特色型）」に採択され、研究環境のダイバーシティを実現し、女性研究者がその能力を最大限発揮できるように、ライフイベント及びワーク・ライフ・バランスに配慮した研究環境の整備や女性研究者の研究力向上のための取組、及び上位職への積極登用に向けた取組・支援を行ってまいりました。本事業も最終年度を迎え、これまで進めてきたそれぞれの取組について、実施体制、事業目標・組織目標に対する達成度、取組内容、取組の成果、継続性・発展性等の総括を行い、冊子として取りまとめました。全国関係者の皆様方、本学関係者にご一読いただき、本事業の取組をご理解いただくとともに、ご意見ご感想をお寄せいただければ、我々の今後のより良い教育・研究環境整備の取組改善に反映させていく所存でございます。

本学では、平成21年度に文部科学省の「女性研究者支援モデル育成事業」に採択されたことを契機に、学童保育、研究支援員制度を開始し、ウーマン・テニュア・トラック（WTT）制や、平成27年度には女性教員特別昇任（ポストアップ）制度を構築しました。ダイバーシティ環境の整備については、復職支援助成金制度（平成27年度）、女性教員支援助成金制度、ワークライフ・ファミリーサポート体制、評価にライフイベントを配慮したシステム（平成28年度）等を構築しました。さらに、令和元年度には「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（先端型）」に採択され、SHINE（Sustainable Healthy Innovation with Network & Empowerment）をコンセプトに女性研究者のポストアップ促進とその候補者層の研究力向上に努めています。また、榎野博史学長は、平成29年4月に就任以降、国連の提唱するSDGs 達成に貢献する取組を全学的に取り組んできました。令和元年度からは、SDGs への貢献を大学経営の中核に置き、教育研究・社会実装の大学機能の全てに反映させて大学の知の資源を活用して、社会からの信頼を得ていく営みである「SDGs 大学経営」をスタートさせました。「SDGs 大学経営」が目指すところは、SDGs 推進研究大学として、マルチステークホルダー・エンゲージメントの強化を通して、本学の特色と強みを際立たせた新たな事業モデルを展開して、財源の多様化による自律的な大学経営を実現することであり、ダイバーシティ&インクルージョンの推進は、SDGs 大学経営の重要な柱です。本事業では、長く不在であった理系分野の女性教授を令和2年度に2名登用するなど、女性の活躍を支援することで、大学の活性化につなげていこうとしています。同時に、本学の教職員ならびに大学院生も含めた研究者を対象に、性別・職種にかかわらず専門のアドバイザーが迅速にサポートする「ダイバーシティよろず相談プログラム」も備えることができました。

今後も本事業で培われた経験と実績を踏まえて、優秀な女性研究者の雇用・育成、支援を進め、研究環境におけるより高度なダイバーシティ文化の構築を目指してまいりますので、引き続き、皆様のご助言とご協力をお願いいたします。



高橋 香代

ダイバーシティ推進本部長  
理事（企画・評価・総務担当）

令和3年3月